

## KIRC 通信 第16号

第4期 (2015.10~2016.9) 活動報告

## ミャンマー・ヤンゴン市旅行感想記 (1月KIRC入会の日野順三会員)

3月17日(木)開催の理事・業務委員会の席上、入会まもない日野会員のミャンマーの最新事情(画像)が紹介された。

日野順三会員



ヤンゴンの寺院参道



ダウンタウンの住宅街



果物販売の屋台



今回、カンボジアのプノンペンでの業務終了後に、ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市を3日間訪問したので、その際に気付いた点を他の東南アジアの国と比較して以下にまとめてみました。

- ① 経済の発展状況について、東南アジアの各都市を最近回った時の印象で比較すると、ミャンマーは経済発展が最も遅れており、仕事が少ないためか、多くの国民が貧しい印象を受けた。

タイ > ベトナム > カンボジア > ラオス > ミャンマー  
(バンコク) (ハノイ, ホーチミン) (プノンペン) (ビエンチャン) (ヤンゴン)

- ② ヤンゴン市内の住宅用建物は古く、早急に建て直しが必要であるが、民間の建設工事がほとんど見られなかった。都市開発については、大型施設の建設には着手しているものの、進んでいない印象を受けた。
- ③ 道路はバスとタクシーが多く走っており、単車が走行していない。旧市内は単車が禁止されているが、単車が走行していない割に、通勤時間帯は渋滞がひどい。人口の割に道路が少ないと思われる。
- ④ 道路の整備が進んでおらず、歩道は壊れているところが多く、様々なものが置かれているので、歩きにくい状態であった。
- ⑤ 車優先の社会で運転が乱暴なので、道の横断には注意が必要。慣れないと大きな道路は怖くて渡れない印象を受けた。
- ⑥ 生活用水が排水側溝に流されているため臭気がひどく、下水システムの整備が早急に必要。東南アジア各国も似たような状況にある。。

※以下の内容は省略します。・・・・全文は別紙「ミャンマー訪問報告」を参照してください。

## その他の活動について

【新規法人会員の入会】 会員名称：(一般社団法人)かわさき中小企業応援団

○(社団)かわさき中小企業応援団との連携について

2/24 先方 上澤代表が来訪、連携について懇談。

3/15 先方訪問、相互連携について検討。先方:上澤代表、小川オーナー、当方:猪狩、宮崎、清水

3/17 拡大理事会の席上、入会が承認され、相互乗り入れとして理事長が先方に入会することにした。

《一般社団法人「かわさき中小企業応援団」の紹介》

- ・設立趣旨：「中小企業は国の宝、中小企業の繁栄は社会の活力」のモットーの下その道の専門家が各企業の多岐に亘る課題に取り組み、その「現場力の改善」を通じて各企業が本来持っている活力を戻すことに注力する集団です、川崎市の中小企業など45名の会員構成。

## 第4期の今後の会議などの予定

○共同オフィスの平成28年度入居について

- ・正式には、4/16からの入居となります(要注意)
- ・平成28年4月16日~平成29年3月31日の入居期間
- ・事務スペース：5階 C-8 (2㎡)
- ・使用料：4,000円/月
- (注意) 3/31までに現事務机・書架の書類・備品は撤収の事

○次回拡大理事会は4/14(木)15:00~の予定

特定非営利活動法人

神奈川中小企業活性化センター

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-55

クリーンセンタービル5階

横浜市民活動共同オフィス内

電話：090-2748-0832 (代表 猪狩)

メール：[ikari@apricot.ocn.ne.jp](mailto:ikari@apricot.ocn.ne.jp)

新規会員募集中。上記までお問い合わせ